

吉田川床上浸水対策事業 着工式

～大和町落合舞野で 12月2日(土)11:00から～

平成27年9月関東・東北豪雨で大きな被害が発生した吉田川上流域において、宮城県と国とが連携して緊急的な治水対策を行う「吉田川床上浸水対策事業」を実施します。

この度、当事業の一環である吉田川上流の堤防工事並びに河道掘削工事に着手することとなり、下記のとおり着工式を執り行うこととしましたのでお知らせします。

【着工式概要】

- 日時 平成29年12月2日(土) 11:00～12:10(予定)
- 場所 宮城県黒川郡大和町落合舞野地内(別紙2会場案内図参照)
※当日は現地に仮設駐車場を用意します。係員の誘導に従い駐車をお願いします。
- 主催 宮城県、大和町、大衡村、国土交通省東北地方整備局
- 次第等 別紙1のとおり

<発表記者会>

宮城県政記者会、東北電力記者会、石巻記者クラブ、古川記者クラブ、東北専門記者会

問い合わせ先

宮城県 土木部 河川課 河川整備班	TEL 022-211-3174
技術補佐兼班長	ふしみ さとる 伏見 聡
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所	TEL 0225-95-0194(代)
技術副所長	さくらい たかひろ 櫻井 隆広(内線204)
工務第二課長	さとう かつひこ 佐藤 克彦(内線321)

吉田川床上浸水対策事業着工式
次 第

日 時:平成29年12月2日(土) 11時～12時10分
会 場:宮城県黒川郡大和町落合舞野地内
主 催:宮城県、大和町、大衡村、東北地方整備局

< オープニングセレモニー >

< 式 典 >

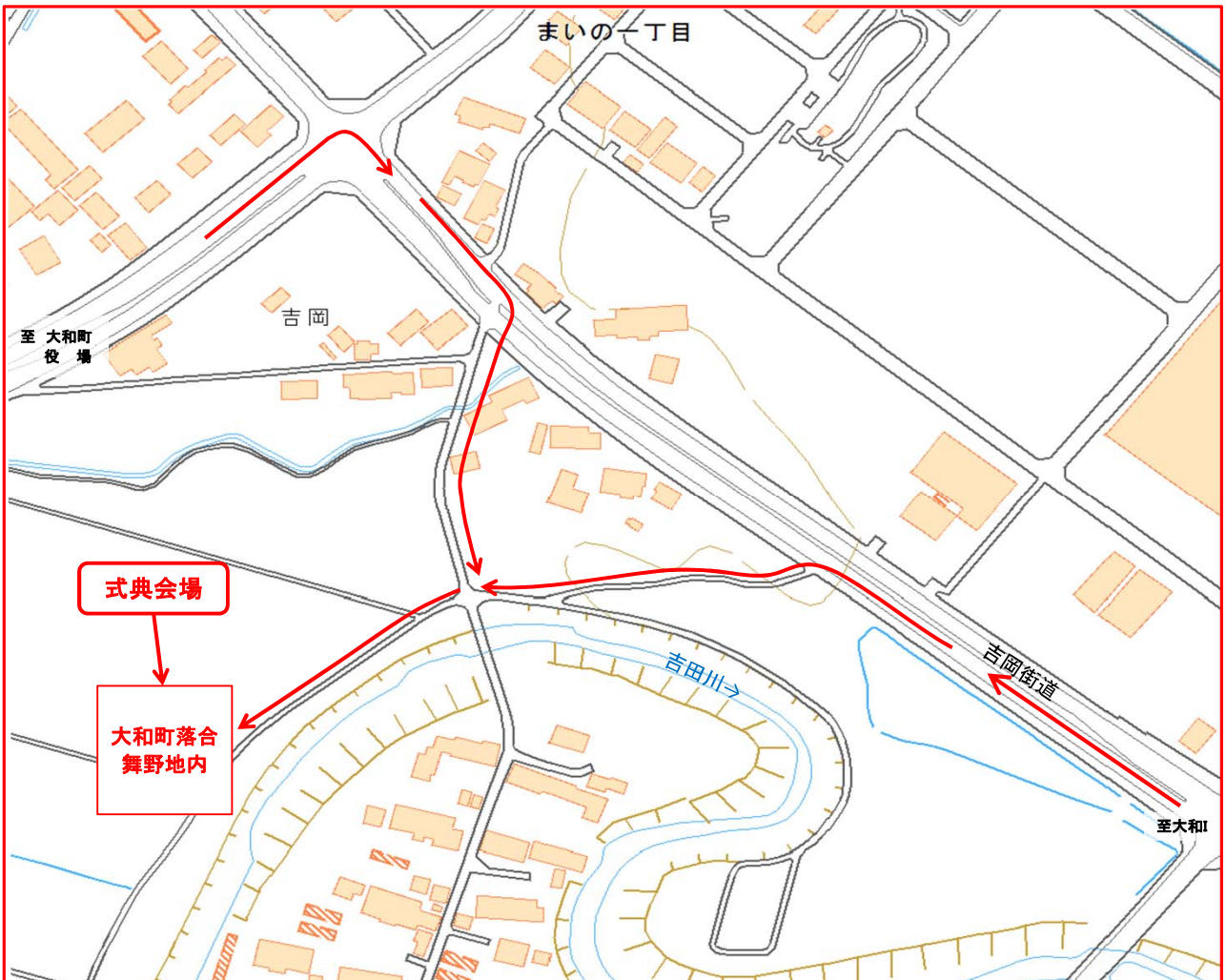
- 一. 開 式
- 一. 挨拶
- 一. 来賓祝辞
- 一. 来賓紹介
- 一. 事業説明
- 一. 期待の言葉
- 一. セレモニー
 - 鋤入れ式
 - 工事着工号令
- 一. 閉 式

式典会場案内図: 吉田川床上浸水対策事業着工式

位置図



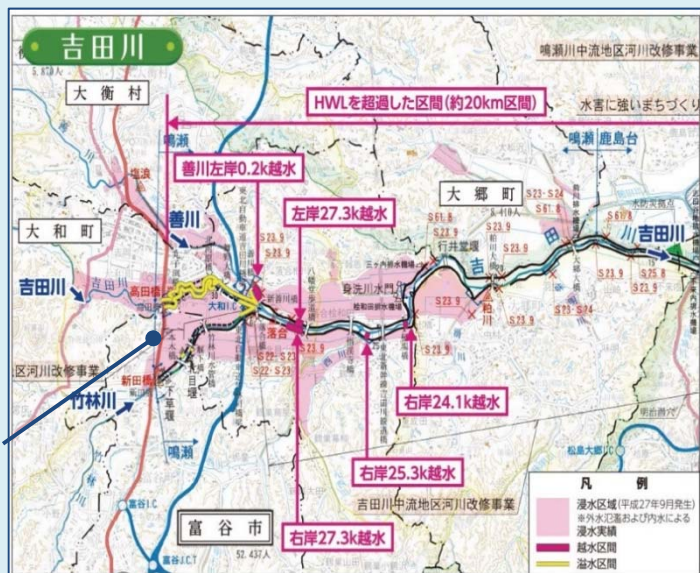
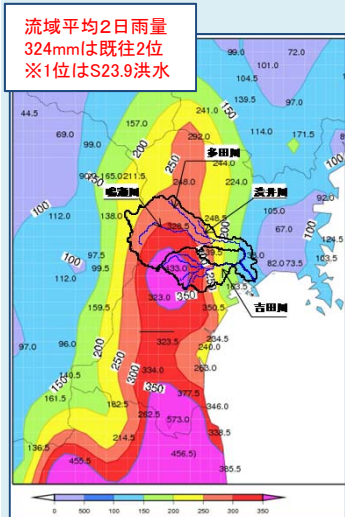
詳細図



吉田川床上浸水対策特別緊急事業

「平成27年9月関東・東北豪雨」による被害の状況

平成27年9月太平洋側を中心に広い範囲で、線状降水帯が停滞し、局地的に猛烈な雨が降り、2日間の雨量は324mm(既往第2位)となりました。
 吉田川上・中流部において床上164戸・床下171戸、浸水面積は約1,700haの浸水被害が発生しました。



等雨量線図: 9月6日0時から
11日12時までの総降水量(単位:mm)
 出典: 仙台管区気象台資料

吉田川では約20kmにわたり計画高水位(H.W.L.)を超過し、越水が5箇所発生、吉田川上流の三川合流地点より上流では溢水が発生しました。

「床上浸水対策特別緊急事業」の概要

「平成27年9月関東・東北豪雨」で大きな被害が発生した吉田川流域において、国、宮城県が主体となり、大和町・大衡村と連携して緊急的な治水対策「床上浸水対策特別緊急事業」を実施します。

国土交通省
 事業内容: 遊水地群の整備、河道掘削・築堤
 総事業費: 128億円
 事業期間: 平成29年度～平成34年度

宮城県
 事業内容: 河道掘削、築堤
 総事業費: 64億円
 事業期間: 平成29年度～平成33年度

(県)
 床上浸水対策特別緊急事業
 L=4, 500m

(国)
 床上浸水対策特別緊急事業
 L=3, 500m

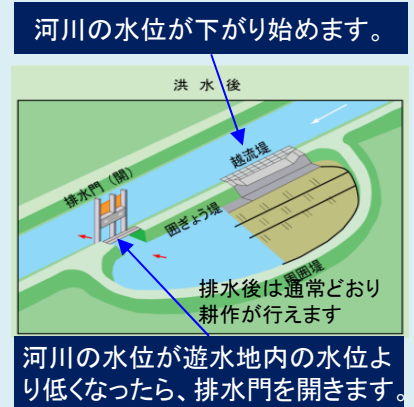
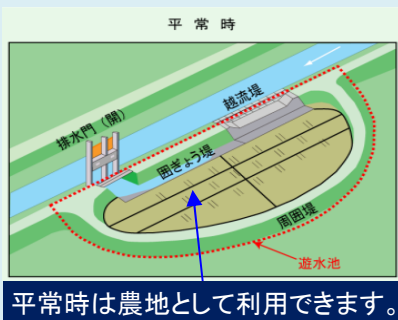


吉田川床上浸水対策特別緊急事業

「遊水地」とは？

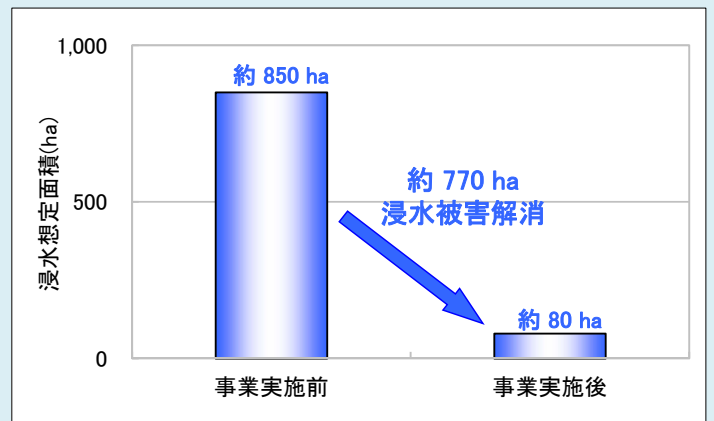
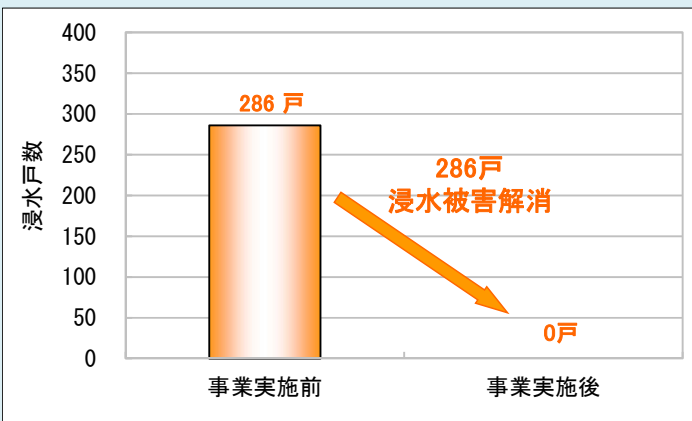
遊水地とは洪水を一時的に貯めて、洪水の最大流量(ピーク流量)を減少させるために設けた区域のことを呼びます。

遊水地の洪水調節のイメージ



事業効果

「平成27年9月関東・東北豪雨」と同規模の洪水に対して、越水による床上・床下浸水被害が解消されます。



※浸水戸数・浸水面積は国管理区間+県管理区間。事業効果の算定は外水氾濫を対象としている。